

福島県県外避難者相談センター(ちば) 連絡先 080-5418-7286・043-303-1688

(受託団体:特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ)

《令和5年度事業計画》

福島県外に避難されている皆さまの日頃の不安や悩み事、今後の生活に向けた相談対応や避難されている皆さま同士が交流できる場を設けるなど、さまざまな活動を行っています。皆さまのお話を伺い、一緒に考え、皆さまが安心して暮らしていくことが出来るよう、お手伝いしていきたいと思っています。相談窓口へご連絡ください。お待ちしております。

【支援事業内容】

- ・電話相談 月～金曜日 10:00～17:00
- ・対面相談 月～水曜日 10:00～17:00
- ・情報紙「縁 joy」隔月 2000 部発行
- ・戸別訪問・茶話会
- ・交流会(縁 joy 交流会 10 月下旬開催予定)



鍋嶋 石井

お住まい、健康、仕事のことなど、暮らしの中で、困っていることはありませんか？どんなことでもご相談ください。専門家におつなぎします。まずは、お電話ください。



福島県県外避難者相談センター(ちば)
080-5418-7286
 相談専用ダイヤル
 10:00～17:00 *対面相談については事前に電話予約してください。

電話相談	月	火	水	木	金
対面相談	○	○	○	×	×

 *祝日の場合はお休みとなります。
 FAX 043-375-7148 メールアドレス ftsoudan@npoclub.com
 〒262-0023 千葉県花見川区検見川町 3-159-2(おおなみなみ内)
 福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業

*訪問時、こちら↑のカードをポスティングさせていただいております。

東北と千葉の出逢いが広がりますように

エン ジョイ

縁 joy Vol.91 2023.6.1

発行:認定特定非営利活動法人
 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
 連絡先:〒261-0011 千葉県美浜区真砂 5-21-12
 ☎043-303-1688 E-mail npo-club@par.odn.ne.jp
 発行部数:2,000 部
 福島県から千葉県へ避難されている方の数:1,342名
 (令和5年3/7現在)

復興支援員から、皆さまへ

福島県避難者支援課(千葉県担当)



郡(こおり)さん

福島県避難者支援課では、県外避難者担当職員が支援業務に当たっているほか、千葉県社会福祉協議会の復興支援員による戸別訪問活動を実施しています。千葉県に避難されている皆様それぞれの生活状況や悩みごとをお聞きし、長期化した避難生活の新たな課題の把握と解決に向けて、関係機関との連絡調整や情報提供等を行っています。皆様に直接お会いしお話を伺う機会もあるかと思っております。避難生活において不安なことやお悩みがありましたら、お話を聞かせください。少しでも皆様のお役にたてるよう活動して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

福島県復興支援員(千葉県担当)

連絡先 043-241-5152



市原さん



増田さん



船津さん



谷野さん



佐藤さん

富岡町県外避難者支援拠点事務所

連絡先 048-832-0600

《令和5年度事業計画》

コロナ禍の影響により、昨年度は支援事業がほとんどできませんでしたが、今年度は、戸別訪問を中心に活動していきます。

【支援事業内容】

- ・戸別訪問・電話訪問・交流会、サロンの開催
- ・富岡町行事への参加・避難先 NPO との連携確立

【支援員体制】

4名体制で今年度も活動してまいります。



佐藤さん 齊藤さん 中野さん 並木さん

浪江町社会福祉協議会 復興支援員 関東事務所

連絡先 080-6295-1499

080-6294-5961

《令和5年度事業計画》

町外避難中の町民が日々の生活において心身共に安定した生活を送れるよう支援いたします。

【主な活動内容】

- ・戸別訪問・電話訪問・交流会の開催・支援団体等が開催する交流会への参加
 - ・浪江町民設立任意団体の支援
- 生活や介護のことなどお気軽にご相談ください。



大浦さん

身体と心の小ネタ 第75便

自分に合うように環境を整える

先日読んだ本にこんな話が載っていました。

「小学生の息子と両親の家庭で、子犬を飼うことになりました。夜はケージに入れ、最初は問題がなかったのですが、ある時から子犬が夜鳴きをするようになりました。何かの病気ではないか、夜中におなかですくのではないか、運動不足ではないか……そこで餌を与える時間を遅くしたり、夕方必ず散歩に連れていったり、考えられる対策を試しました。それでも一向に夜鳴きはやみません。」
 私たちは問題が起ると、その原因をその「個人」に求め、また対策もその「個人」に焦点を当てて何とかしようとしてしまいます。ここで夜鳴きをするという「犬自身」に原因を求め、さまざまな対策を考えようとしています。でもそれでうまくいかないときはどうすればいいでしょうか。このエピソードには続きがあります。

息子がつぶやきました。「子犬の体が大きくなって、ケージが窮屈になったんじゃないの」と。家族がケージを大きくしたところ、その夜から夜鳴きは止まりました。

夜鳴きの本当の原因は、犬小屋という「環境」にありました。私たちも周囲の環境に自分を合わせようとして自分でも気づかないことが多いと思います。自分を環境に合わせるのではなく、自分に合うように環境を整えてみることも必要かもしれません。



(※エピソードは「よくわかる」ミニ心理学「植村勝彦編著を参考にしました」)

一般社団法人 千葉県公認心理師協会